



# 昴の今日と明日Ⅱ

No.52, Sep.13th, 2013 (編集・発行)昴☆共生社会研究所

## おばけ屋敷に千客万来

西部比企支援センター



東松山市高坂地区では、毎年8月1日に近い土・日曜日に高坂神社の「天王様」というお神

### こんなおばけ登場

輿が町内を巡行

する夏祭りが開催されている。本祭りである2日目は、いんくる堂の前の通りも通行止めになり、屋台も出て賑わうそうだ。

今年度、若手職員を中心にひっそりと立ち上げた“いんくる堂ホール使用プロジェクト”では、お祭り1日目の宵宮に合わせて、お化け屋敷を企画した。ここでお祭りを盛り上げるお手伝いできれば、いんくる堂を知ってもらえる機会にもなるはずと、たくさんの方に協力してもらい、張り切って準備を進めたが、初めての試みとあり不安も日に日に増していく中で当日を迎えた。ふたを開けてみると、来てくださったお客様は述べ116名。ホールには外まで聞こえる悲鳴が響き渡り、2回3回と挑戦するお子さんもいた。翌日には、ご近所の方から「昨日はすごい盛り上がりだね。」「孫がお世話になりました。楽しかったみたいです。」と声をかけてもらった。何とも言えない達成感を味わいつつ、これで終わらせてはいけないと気を引き締めた瞬間でもある。

いんくる堂では、今後お化け屋敷以外にも様々なイベントを開催していこうと考えています。現在企画しているのは、10月27日(日)に開催するフリーマーケット！只今出店者募集中！！もちろん、当日お客様としてお越しいただくのも大歓迎です。

西部・比企地域支援センター 中西

## 研究所所員の企画による2013年度「所友研修」

### 【第1回】地域生活支援と地域移行(9/5日)

講師・相馬大祐氏(国立のぞみの園)

〈参加して思うこと〉

通所施設の職員として、勤務し始めて1年半が経ちます。入職前は漠然と「障害のある方の地域生活を支援したい」と考えていましたが、今は「目の前にいる〇〇さんの今後の地域生活をどうにか支えていきたい」と考える毎日です。今回の研修では、地域生活、地域移行の現状についてと、今後必要な支援についてのお話を頂きましたが、中でも、私たち昴職員にどういったアプローチ・支援ができるのかという部分が、非常に胸に響きました。

実際に施設に通所されている方のご家族の中で、「いつかは地域生活を諦める日が来るかもしれない…」と考える方は少なくないように感じるがあります。そういったご家族の思いを感じる度に、「絶対に諦めてほしくない!」「何とかして支えていきたい。」と思う。でもどうしたら…と考えるものの、なかなか答えが出るものではなく、考え込むばかりでした。しかし、今回の研修の中で、講師の相馬先生や参加された先輩方に意見を頂くことができ、「今、通所施設の職員としてできること、すべきこと」は何なのかが少し見えてきたように感じます。

「〇〇さんの笑顔のある生活を支援したい。」この思い以上の原動力は他にないと思っています。地域生活を継続するという事は、現状から考えると、課題は多く、簡単なことではありませんが、この原動力が集まれば、きっと支えていけると強く感じました。

デイセンターウィズ 星野

